

資料5 2022年度の主な取組み

新型コロナウイルス感染症の拡大により多大な影響を受けている大阪の賑わいを取り戻し、来るべき大阪・関西万博を見据えた都市魅力の創造・発信や受入環境整備を図るため、大阪都市魅力創造戦略2025に基づく重点取組みをはじめとした各種施策・事業を推進。

■ 世界第一級の文化・観光拠点の進化・発信

- 2025年日本国際博覧会推進事業
- IRの推進
- 大阪・光の饗宴
- 百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用事業
- 大阪市内の重点エリアの魅力向上
- 万博記念公園の魅力向上
- 水都大阪

■ 大阪の強みを生かした魅力創出・発信

- 大阪の食の魅力の発信
- 国内外の人々を惹きつけるキラコンテツの創出
- 大阪観光局運営事業
- 観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業
- 広域ベイエリアまちづくりの推進

■ さらなる観光誘客に向けた取組み

- 国内旅行消費喚起事業
- 大阪いらっしやいキャンペーン
新たなGo Toトラベル事業（都道府県による事業）
- 宿泊施設おもてなし環境整備促進事業
- 外国人旅行者安全確保事業
- 災害時多言語支援事業
- ナイトカルチャー魅力創出事業
- 大阪城天守閣を中心とした集客促進事業（再掲）

■ 戦略的なMICE誘致の推進

- MICE推進に向けた取組み
- AIMS世界総会の開催
- 大阪府立国際会議場の改修
- インテックス大阪の改修

■ 文化・芸術を通じた都市ブランドの形成

- 大阪文化芸術創出事業
- 芸術文化による大阪の魅力向上
- 美術館・博物館の魅力向上（再掲）

■ スポーツツーリズムの推進

- スポーツツーリズムモデル事業
- 大阪スポーツプロジェクト推進事業
- 大阪マラソン開催事業
- AIMS世界総会の開催（再掲）

■ 大阪の成長・発展につながる

国内外の高度人材の活躍推進

- 高校生等海外進学支援事業
- 実践的英語体験活動推進事業
- 外国人受入環境整備事業
- 外国人留学生就職支援事業

※詳細は、「（別添）取組み概要」資料を参照

別添) 取組み概要

■ 世界第一級の文化・観光拠点の進化・発信

2025年日本国際博覧会推進事業

事業概要

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の成功に向け、地元自治体として担うべき開催準備等を推進する。

- 会場整備・交通アクセスにおいて、円滑な開催に向け、引き続き国や関係機関と調整を行う。
- 大阪パビリオンについては、令和3年度末に策定予定の出展基本計画に基づき、2022年度以降の大阪パビリオンの建設、展示、運営等の実現に向け具体化を進める。
- 府民・市民一人ひとりに向けたPR活動や万博への理解促進、興味関心を示す取り組みを推進するとともに、「万博の桜」への呼びかけ、PRツールの配布などによって、機運醸成を図る。また、国や博覧会協会、その他関係機関とも連携し、各主体が有するツールやネットワーク等を活用して府内外に向けた機運醸成を進めていく。

令和4年度当初予算案 7,221,408千円

IRの推進

事業概要

夢洲において、大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなる世界最高水準の成長型IRの実現をめざす。

- 2022年4月 区域整備計画の認定申請予定
- 2023年以降に設置運営事業開始、工事着工予定
- 2029年秋～冬頃開業予定

令和4年度当初予算案 121,669千円

大阪・光の饗宴

事業概要

「御堂筋イルミネーション」、「OSAKA光のルネサンス」、地域団体等が展開するエリアプログラムを一体的に展開して、都市魅力の創造・発信や都市ブランドの向上を図る。

大阪の冬を代表する観光コンテンツの充実を図り、国内外からの観光客の満足度を高め、さらなる呼び込みを図る。

- 11月～12月頃 イベント開催予定

令和4年度当初予算案 353,746千円

百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用事業

事業概要

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」について、「世界遺産条約」に基づく義務を果たすため、資産の保存・活用の取組みや資産の価値と魅力を発信する取組みを、大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市が一体となり進める。

- 4自治体で構成する百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議にて、遺産影響評価の実施にかかる国やユネスコ等との協議調整を行う。
- 魅力発信の取組みとして、昨年度作成した高精細PR映像の視聴数の向上及び興味関心がある層の把握を行う。

令和4年度当初予算案 13,749千円

大阪市内の重点エリアの魅力向上

一部新規

事業概要

都市の魅力向上にむけて、大阪市内の重点エリアの魅力向上、発信の各種取組を推進する。

①大阪城・大手前・森之宮地区

- ・大阪城天守閣の復興90周年を締めくくるイベントを官民連携で実施し、大阪への集客を促進するとともに新型コロナウイルス感染症拡大の影響からの復興の機運を醸成する。

令和4年度当初予算案 262,760千円

- ・初代大坂城の石垣を掘り起こし、公開施設の整備、特別史跡大坂城跡保存管理計画の推進、文化財の整備・活用を行う。2022～2023年度に施設整備工事、施設展示製作等を行い、2024年春の公開施設オープンをめざす。

令和4年度当初予算案 296,902千円

- ・難波宮跡公園を万博開催までに民間活力導入によりハード・ソフト両面から魅力向上を行う。2022年度に事業者を選定し、公園整備（北部ブロック）に着手、2024年度完成予定。

令和4年度当初予算案 90千円

②天王寺・阿倍野地区

- ・市立美術館の機能強化と利用者サービス向上のための抜本的改修を行う。2022年度は実施設計に基づき改修工事を実施する。

令和4年度当初予算案 1,315,868千円

- ・天王寺動物園の老朽獣舎リニューアル工事を行い、集客力強化とブランド力向上をめざす。ペンギン・アシカ舎、2022年度完成予定。

令和4年度当初予算案 1,440,428千円

■ 世界第一級の文化・観光拠点の進化・発信

万博記念公園の魅力向上

事業概要

①万博記念公園駅前周辺地区活性化事業

大規模アリーナを中核とした大阪・関西を代表する新たなスポーツ・文化の拠点づくりを推進する。2022年度に環境アセスメント開始、2023年度に工事着工し、2027年度に第Ⅰ期（アリーナ等）開業予定。

令和4年度当初予算案 340,901千円

②新たな将来ビジョンの策定

万博記念公園を取り巻く状況が大きく変化していることを踏まえ、万博のレガシーを次世代に継承していくとともに、公園のさらなる活性化を図るため、現行の将来ビジョンを見直し、新たな将来ビジョンを策定する。2022年11月新ビジョン策定予定。

令和4年度当初予算案 6,710千円

③EXPO'70 パビリオン別館の建設

太陽の塔初代黄金の顔等、1970年大阪万博のレガシーの展示や、屋内イベントが開催できるEXPO'70パビリオン別館を建設。展示内容等について、万博公園運営審議会の意見を聴取するなど充実を図る。2023年8月オープン予定。

令和4年度当初予算案 581,619千円

水都大阪

一部新規

事業概要

「水と光の首都大阪」の実現に向けて、府・市・経済界等による公民共通のプラットフォームである「水都大阪コンソーシアム」において、水辺魅力創出や舟運活性化、ブランディング、観光、安全安心を推進する。2022年度は水辺におけるライフスタイルの提案や体験による水都大阪のファンづくりをはじめ、歴史・文化に培われた水都大阪のブランディングをさらに強化するとともに、万博を見据え、さらにポスト2025をにらんだ水都の将来像の検討を行う。

令和4年度当初予算案 67,450千円

舟運をはじめ水辺も楽しめる観光メニューが集結するターミナルの整備、水辺魅力の向上や、舟運活性化に資する空間・景観整備を行う。

○中之島ゲートターミナル整備

2022年中 事業者公募予定

○大阪城港整備等

2022年度末 完成予定

○東横堀川（本町橋～農人橋間）

2022年度 契約手続き・着手、2023～2024年度 工事、2024年度完成予定

○端建蔵橋ライトアップ

2022～2024年度 端建蔵橋架替工事にあわせてライトアップ整備予定

令和4年度当初予算案 707,000千円

別添) 取組み概要

■ 大阪の強みを生かした魅力創出・発信

大阪の食の魅力の発信

事業概要

大阪の強みである「食」のコンテンツの磨き上げや発信などを行い、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた大阪の賑わいを取り戻す。

①「食のブランディングに向けた取り組み」

魅力ある「食」コンテンツの掘り出しや発信など、食に関する事業を通じて大阪の「食」ブランディングに向けた取組みを推進する。

大阪商工会議所と共に「食創造都市 大阪推進機構」の活動を通じて世界における「食のまち・大阪」を発信する。

令和4年度当初予算案 大阪観光局運営事業（533,500千円）の一部

②「大阪産（もん）グローバルブランド化促進事業」

6次産業化に取り組む事業者への支援等により付加価値の高い大阪産（もん）づくりを進めるとともに、大阪産（もん）のPR販売や販路拡大等を促進し、ブランド力の向上と購入機会の拡大を図る。

令和4年度当初予算 90,079千円

③「大阪の食の魅力発信」

大阪の食の魅力を活用した新たな大阪ならではの観光コンテンツの開発をするなど、大阪の強みである「食」の魅力を発信する。プログラム造成、実施、PRを年間を通して実施。

大阪観光局運営事業

事業概要

大阪観光局において、新たな観光関連産業の振興や地域の活性化、効果的なプロモーションや地域と連携したMICE誘致などの事業に取り組み、来阪宿泊数等を増加させることで、新たな観光関連産業の振興や地域の活性化につなげ、経済効果の向上を図る。

令和4年度当初予算案 533,500千円

国内外の人々を惹きつけるキラコンテンツの創出

事業概要

大阪のシンボリックなエリア（御堂筋、中之島、水の回廊など）において話題性のあるキラコンテンツを実施し、大阪の魅力を全世界に強力に発信することで、多くの方々を大阪に誘客する起爆剤となるプロモーションイベントを開催する。（2022年秋予定）

2025年大阪・関西万博の機運醸成に向けたプロモーション事業と連携。

令和4年度当初予算案 134,200千円

観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業

事業概要

船場地区において、歴史的・文化的な建築資源周辺の無電柱化や周辺景観と調和した道路整備を実施するとともに、回遊性向上の取組み等を実施する。2023年3月に、電線管理者により道修町通の抜柱完了予定。

整備後の道路空間を活用した賑わい創出等をめざす。

広域ベイエリアまちづくりの推進

事業概要

2050年を長期目標とした大阪広域ベイエリアの将来像や様々な主体の取組みの基本的な方向性等について、「大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン（案）」をとりまとめ、その重点的な取組みとして、海上交通の活性化、広域サイクル連携及び堺旧港周辺まちづくり等の取組みを推進する。

令和4年度当初予算案 4,000千円

別添) 取組み概要

■さらなる観光誘客に向けた取組み

国内旅行消費喚起事業

一部新規

事業概要

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大きな打撃を受けた観光関連事業者を支援するため、魅力的なコンテンツにより、大阪に観光客を呼び込むとともに、府域を周遊させる仕組みを構築し、効果を府内全体に波及させる。

①特別な旅づくり

多様な観光資源の新たな楽しみ方を提供することで、大阪の魅力を知らせていただき、集客促進・周遊のきっかけとするため、期間限定の魅力的なプレミアム感のある体験を提供するコンテンツを実施し、大阪の魅力を全国に発信する。

②誘客・府域周遊への仕掛けづくり

大阪への誘客を促進し、府域周遊につなげるため、「特別な旅づくり」等により来阪された観光客に府内の観光関連施設で利用できるクーポン等を付与する。

令和4年度当初予算案 2,000,000千円

大阪いらっしやいキャンペーン・新たなGoToトラベル事業

一部新規

事業概要

観光関連事業者を支援するため、「国内旅行消費喚起事業」に加え、「大阪いらっしやいキャンペーン」、「新たなGoToトラベル事業」を実施し、府域への誘客及び観光消費を促進する。

○大阪いらっしやいキャンペーン

国の補助を活用し、「大阪いらっしやいキャンペーン2021」のスキームにて一定額以上の旅行・宿泊プランを対象に宿泊割引とクーポン付与を実施する

令和4年度予算案 9,700,000千円 ※全額R3年度より繰越予定

○新たなGoToトラベル事業

国によるGoToトラベル事業終了後に、都道府県事業として宿泊割引とクーポン付与を実施する。

令和4年度予算案 21,405,718千円 ※全額R3年度より繰越予定

ナイトカルチャー魅力創出事業

事業概要

主に外国人旅行者を対象としたナイトカルチャー事業の立ち上げや事業継続に向けた取組みを支援する。

夜間公演等の事業継続に向けた取組みに対し、補助上限額を250万円とする補助を実施する。

新しい補助事業の構築に向け、ナイトカルチャーの発掘・創出にかかる検討会を、2022年5月～8月に開催予定。

令和4年度当初予算案 2,778千円

宿泊施設おもてなし環境整備促進事業

事業概要

宿泊施設（特区及び新法民泊施設を含む）における来阪旅行者のための環境整備に係る事業に対し補助を行うことにより、おもてなし環境の向上を図る。

宿泊施設が実施する以下の取組みに対し支援を行う。

感染防止対策推進：非接触対応や換気機能向上などの新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

おもてなし環境整備：施設内案内表示の多言語化やWi-FiなどIT環境の整備、トイレの洋式化といった宿泊客の利便性や満足度向上に繋がる取組み

令和4年度当初予算案 20,000千円

外国人旅行者安全確保事業

事業概要

災害時等に外国人旅行者自らが身を守るために必要な情報を入手できる環境をつくることともに、ホテル等との災害時の連携協定締結を進めることにより、災害時に外国人旅行者等が一時避難できる環境を確保する。

今後は、旅行者向けのリーフレットの配布拡大をはじめ、支援フロー及びガイドラインの周知、大阪市をはじめとした府内宿泊施設との協定締結の促進に取り組む。

令和4年度当初予算案 2,322千円

災害時多言語支援事業

事業概要

災害時に外国人が必要とする災害や交通等の情報を多言語で提供するウェブサイト・アプリであるOsaka Safe Travelsの管理・運用を行うとともに、情報の充実や普及促進に取り組む。

令和4年度当初予算案 12,993千円

大阪城天守閣を中心とした集客促進事業（再掲）

新規

事業概要

大阪城天守閣の復興90周年を締めくくるイベントを官民連携で実施し、大阪への集客を促進するとともに新型コロナウイルス感染症拡大の影響からの復興の機運を醸成する。

- ・大阪城公園の特性を活かした催事のほか、音楽ライブや、物販・飲食ブースの出店等による大阪ならではのイベントを開催。（2022年10月予定）
- ・大阪城天守閣と縁のある城郭と連携したキャンペーンを実施。

令和4年度当初予算案 262,760千円

■ 戦略的なMICE誘致の推進

MICE推進に向けた取組み

一部新規

事業概要

官民が一体となって戦略的にMICE誘致を展開するため、MICE戦略の策定を進める。
また、府内施設を主会場としたオンライン併用型MICEの開催費用を助成するなど、大阪におけるMICE受入体制の充実を図る。

ハイブリッドMICEの開催支援として、大阪府内の施設をリアル主会場とする際に必要となる配信用機材等のレンタル料、通信費、オペレーター経費、会場費を助成する。

令和4年度当初予算案 大阪観光局運営事業（予算：533,500千円）の一部
ハイブリッド開催支援事業9,444千円

AIMS世界総会の開催

新規

事業概要

「第23回AIMS（国際マラソン・ディスタンスレース協会）世界総会」を開催し、大阪マラソンの国際的な知名度向上を図るとともに大阪の都市魅力のプロモーションを実施する。

○期間 2023年2月23日(木)～25日(土)

○会場 大阪市内のホテル

○参加者数 約500名（海外450名、国内50名）

○内容 AIMS世界総会開催、大阪マラソン視察、大阪・関西のプロモーション

令和4年度当初予算案 30,000千円

大阪府立国際会議場の改修

新規

事業概要

国際会議施設として必要とされる水準を維持するとともに、利用者の安全確保・快適性を確保し、施設の稼働率の維持・向上を目的に設備等の改修、更新工事を行う。

2022年度：大規模改修工事実施設計 2023年度：大規模改修工事

令和4年度当初予算案 83,964千円

インテックス大阪の改修

新規

事業概要

来場者に対する安全性や快適性を確保し、施設の機能回復を図るとともにMICE施設としての魅力を向上するため、インテックス大阪の長寿命化に必要な改修工事や施設の機能拡充を行う。

2022年度 基本計画、2023年度 基本設計、2024年度 実施設計

令和4年度当初予算案 26,840千円

■ 文化・芸術を通じた都市ブランドの形成

大阪文化芸術創出事業

拡充

事業概要

新型コロナウイルス感染症拡大により、甚大な影響を受けているアーティストや演芸人、楽団など文化芸術に携わる方々を支援するため、公演・活動機会を創出し、府民・市民に鑑賞機会を提供するとともに、大阪の文化芸術の魅力発信に取り組む。

①活動支援補助金

新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けている舞台公演等の文化芸術活動を支援するため、大阪府市が連携し、公演・展示の実施にかかる会場使用料等を補助する。

令和4年度当初予算案 300,000千円

②公演機会の創出

文化芸術活動の回復に取り組むため、大阪府市が連携し、プログラムをさらに充実させ、大阪ゆかりのアーティスト・演芸人や劇団・楽団等の公演・活動の場を創出するとともに、府民に文化芸術に触れる機会を提供する。

令和4年度当初予算案 300,000千円

③文化芸術の魅力発信

文化を核として大阪の都市魅力を創造し、広く国内外に発信していく事業として、大阪文化芸術フェスを実施する。ホールや劇場、公園のほか、府内各地にある文化資源や地域の魅力も活用し、アートをはじめ、大阪が誇る上方伝統芸能や音楽等の様々なプログラムを展開する。

令和4年度当初予算案 144,000千円

芸術文化による大阪の魅力向上

事業概要

①大阪クラシック

御堂筋や中之島エリアで無料または低料金のクラシックコンサートを通じて、市民やビジターが気軽に第一級の芸術を楽しむ機会を提供するとともに、大阪ならではの芸術文化イベント開催により都市魅力の向上を図る。

令和4年度当初予算案 32,350千円

②大阪アジア映画祭

優れたアジア映画の鑑賞機会を市民に提供すること及び大阪での映像制作活動の促進を支援すること等を通じて、映像文化の裾野を広げ、芸術文化にあふれる大阪を国内外に発信する。また、大阪を映像文化の創造拠点として、都市の魅力を高めるとともに、交流と人材育成を図る。

令和4年度当初予算案 20,288千円

③文楽を中心とした古典芸能振興

大阪の誇る文楽を中心とした上方の古典芸能に触れる機会を市民に提供することにより、文楽をはじめとする古典芸能の振興を図る。

令和4年度当初予算案 35,000千円

美術館・博物館の魅力向上（再掲）

事業概要

「大阪市ミュージアムビジョン」に掲げる、①大阪の知を拓く、②大阪を元気にする、③学びと活動の拠点へ、を目標に、「都市のコアとしてのミュージアム」の実現に向け、都市魅力の向上と新たな文化・人材の創出に貢献する。

所蔵作品の計画的な修復や展示環境の改善・魅力的な展示の実現を行うとともに、マスメディア等と連携した特別展及び企画展の誘致に取り組む。

令和4年度当初予算案 2,464,475千円

○大阪市立美術館の大規模改修

美術館として必要な機能強化と利用者サービス向上のための抜本的改修を行う。2022年度は実施設計に基づき改修工事を実施する。

2022年度～ 大規模改修工事

2024年度中 リニューアルオープン予定

令和4年度当初予算案 1,315,868千円

別添) 取組み概要

■ スポーツツーリズムの推進

スポーツツーリズムモデル事業

一部新規

事業概要

スポーツ資源と府内の観光資源と組み合わせ、サイクル等スポーツツーリズムを推進する。空の玄関口である関西国際空港から万博会場の夢洲までのベイエリアライン上にある地域資源を組み合わせ、魅力ある大阪の様々なコンテンツを体感できるサイクル等ツーリズムの形成や体験型モデル事業の実施等を行う。

令和4年度当初予算案 15,000千円

大阪マラソン開催事業

事業概要

大阪マラソンは、参加ランナーが大阪の名所を駆け抜け、大阪の元気や都市魅力を国内外に発信する新しい「お祭り」として2011年にスタート。2022年2月27日開催の第10回大会から「びわ湖毎日マラソン」と統合し、トップランナーも参加する大会となった。

今後、さらなる魅力づくりに取り組むとともに、大会の国際化を推進することにより、世界トップレベルの市民マラソンをめざす。令和4年度は、2023年2月26日開催予定。

令和4年度当初予算案 180,000千円

大阪スポーツプロジェクト推進事業

一部新規

事業概要

スポーツによる都市魅力の取組みとして、在阪スポーツチーム等と一体となり設立した大阪スポーツコミッションにおいて、スポーツと文化・観光資源等を組み合わせたモデルツアーの企画・検証を行い、商品化につなげることにより、スポーツツーリズムの推進を図る。また、トップスポーツチーム選手等を活用したスポーツイベントの開催を通じて、府民にスポーツに触れる機会を提供し、生涯スポーツの一層の振興により、地域社会・経済の活性化につなげる。

令和4年度当初予算案 11,000千円

AIMS世界総会の開催（再掲）

新規

事業概要

「第23回AIMS（国際マラソン・ディスタンスレース協会）世界総会」を開催し、大阪マラソンの国際的な知名度向上を図るとともに大阪の都市魅力のプロモーションを実施する。

○期間 2023年2月23日(木)～25日(土)

○会場 大阪市内のホテル

○参加者数 約500名（海外450名、国内50名）

○内容 AIMS世界総会開催、大阪マラソン視察、大阪・関西のプロモーション

令和4年度当初予算案 30,000千円

■ 大阪の成長・発展につながる国内外の高度人材の活躍推進

高校生等海外進学支援事業

事業概要

海外の大学で学位取得をめざす高校生を対象に、英語力やコミュニケーション力等の強化を図るとともに、海外の大学への進路指導を行うなど、総合的な支援（通称：おおさかグローバル塾）を実施する。5月にプログラム開始、8月に短期留学予定。

おおさかグローバル塾修了者の海外進学レベルの英語力習得：90%以上を目標とする。

令和4年度当初予算案 41,661千円

実践的英語体験活動推進事業

事業概要

府内の高校生等を対象に、実践的英語体験（通称：グローバル体験プログラム）を実施し、海外への興味や英語でのコミュニケーションの必要性に気づかせることにより、将来のグローバル人材の裾野を拡げる。5月に参加者募集、プログラム開始予定。

グローバル体験プログラム参加者のうち、英語の習得意欲が高まった割合：95%以上、海外に関する関心が高まった割合：95%以上を目標とする。

令和4年度当初予算案 7,800千円

外国人受入環境整備事業

事業概要

外国人に生活・就労等に関する情報提供や相談対応を一元的に行う相談窓口を運営する（公財）大阪府国際交流財団に対し、補助を行うとともに情報提供を行うとともに多言語での情報発信を行う。

令和4年度当初予算案 20,000千円

外国人が安心して快適に生活をおくり、大阪を住みやすい都市として認識し、定着を促すため、在住外国人を対象とした専門分野の相談会を実施する。

大阪国際交流センターのインフォメーションセンター内にある「外国人のための相談窓口」において、大阪市役所及び区役所等における外国人住民からの相談対応時に電話通訳を実施するとともに、窓口への来訪及び電話による在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子どもの教育等の生活にかかる適切な情報や、手続き等の実施、相談場所に迅速に到達できるよう、情報提供や相談を多言語で行う。

令和4年度当初予算案 50,913千円

外国人留学生就職支援事業

事業概要

府内大学の外国人留学生を対象に、企業のビジネスマナー等も含め、就職に関する基礎的なセミナーや就活に必要なスキルの習得を図るセミナーを開催する。

また、企業との意見交換や元留学生との懇談の場を設け、企業就職への理解を深めることにより、大阪企業への就職を促進する。

令和4年度当初予算案 2,186千円